

緑のある道

~歴史街道から花の丘公苑へ~

西区の新しい玄関口「西大宮駅」から、花の丘公苑(大宮花の丘農林公苑)に至る約10kmのコースです。コース上には史跡や文化財、里山や鎮守の森などが点在しており、「与野道」や「秋葉道」と呼ばれる古道を歩きつつ、名所旧跡や美しい自然にふれることのできるおもむき深い散策路です。

西大宮駅をスタートするとすぐに大塚古墳に到着。埼玉県内では数少ない墳丘の平面形が平方の「方墳」として県の指定史跡となっていますが、最近ではお經を埋めて供養した「経塚」では?という指摘もあります。西大宮バイパスを渡り、西区役所を右手に見て右折、指扇公民館そばの高木地蔵堂(跡)に向かいます。ここでは8月24日に境内の高木未広自治会館で十王地獄図や木造地蔵菩薩坐像が公開されます。ここから約1.5km行くと、県道57号(与野道)沿いに高さ257cmの堂々たる辻の庚申塔が姿を現します。庚申の伝承に思いを馳せつつ、そのまま県道を進み、指扇自治会館の先を右折し住宅と畑の間の道を行くと両側にアシの茂る湿地帯、そのあと小さな坂を上ると鎮守の森に突き当たります。ここが秋葉神社です。火除け・盗除けの神として、4月と12月の18日に例大祭が行われ、今日でも大変な賑わいを見ています。

秋葉神社からは細い道を北に進み秋葉通りを右に進むと秋葉の森総合公園へ入ることができます。谷戸(低地)に作られた自然保護ゾーンを満喫しながら、公園出口を南へ進み、道標石を左斜めに進むと植栽が見事な永昌寺が見えてきます。秋葉三尺坊から出て旧秋葉道を東進すると、一年を通して花や緑に囲まれた法光寺が見えてきます。

法光寺を出て東に進み県道を渡ると、滻沼川の小さな流れが現れます。上流部には湧き水があり清流が絶えないことから、かつては初夏に蛍の姿を見ることができました。これから小さな坂を上ると、清河寺の山門前に出ます。山門を出て左へ回り込むと、県の天然記念物で根の周り14mの堂々たる清河寺の大ケヤキに圧倒されます。このあと西新井ふるさと緑の景観地を巡って、たっぷりと森林浴をした後、ゴールの花の丘公苑に到着です。



12景 秋葉神社



12景 秋葉の森総合公園



12景 永昌寺



12景 清河寺



12景 法光寺



12景 大宮花の丘農林公苑

コース距離 10km

- ①西大宮駅 0.4km
- ②大塚古墳 1.4km
- ③高木地蔵堂
- 1.5km
- ④辻の庚申塔 1.2km
- ⑤秋葉神社 1.8km
- ⑥永昌寺
- 0.5km
- ⑦法光寺 1.0km
- ⑧清河寺 2.0km
- ⑨大宮花の丘農林公苑



| 凡 例 | |
|------|--------------------|
| 足立神社 | 「水と緑と花の12景」 |
| 大塚古墳 | 県・市指定文化財がある名所・旧跡など |
| 里山風景 | 名所・旧跡・公共施設など |
| ■ | 散歩みちルート |
| トイレ | |

花のある道

~公園と公園をつなぐ散歩みち~

この散歩道は、花の丘公苑をスタートして鴨川みずべの里をゴールとする約9kmの道のりで、5ヶ所の公園を結び、鴨川べり歩きを含む南北のコースです。公園はそれぞれ、花の公園・スポーツなどの総合公園・墓地公園・水辺の公園とレパートリー豊かな組み合わせとなっています。

花の丘公苑南口を出て旧秋葉道に入り、上尾道路(バイパス)を過ぎて150m行き、斜め左に曲がると里山風景が広がります。ここでは、昔「検見道(検見役人が年貢率を決定するため巡回する道筋)」といわれ、今地元の人が「六尺道」と呼ぶ狭い農道(公道)を歩くのが風情を楽しむコツです。この辺りは台地のため水利が悪く畑作が中心で第二次世界大戦頃までは桑畑、今は野菜や梨・ぶどうなどの果物畑になっています。一方、屋敷林や雑木林もそこそこに昔の姿を留めています。やがて、ゴルフ練習場の真南の茶畑に着きますが、これは里山の畑の砂塵を防ぐため、あぜ茶を発展させたものといわれています。茶畑から少し戻り再び六尺道、「本当に公道?」と思わせる細い道を通り抜けて宮前インターエンジンの地下道をくぐり次の行程に向かいます。

ここからが第二ステージです。すぐに興徳寺に到着、室町時代の作といわれる「地蔵菩薩坐像」(非公開)のある寺院です。興徳寺から東に200m進むと、地元の憩いの場所となっている宮前氷川神社です。ここからJR川越線の踏切を渡りしばらく行くと現れるのが静かな佇まいの八雲神社。そのあとは約500mの鴨川べりの小道散策です。一旦新大宮バイパスを超えて大倭神社の庚申塔の前で、庚申の災いから身を守るために、飲食をしながら朝まですごしたという大昔の村びとの願いをしのんだあと、再びバイパスを横切り三橋総合公園に到着、しばしのトイレ休憩。平成3年に完成したこの公園は、スポーツ施設が揃った10.3haの広大な総合公園。さらに公園の中ほどから、東側に隣接したウエットランド(鴨川第一調整池)に降り、張り巡らされた木道の水上散策を楽しみます。この付近は、春に桜が見事に咲き誇ります。

三橋総合公園を後にして、三たびバイパスを超えると最終ステージに入ります。最初に訪れるのは青葉園。15万m²の大きな墓地公園で、各界の著名人が多く眠っています。県の天然記念物指定の見事な藤は4月中旬~5月上旬が見ごろ。案外知られていないのが境内の隣接地にある市指定天然記念物のヒイラギの大木で、園の北東に位置し初冬には白い花を咲かせます。この後は南に向かい、古道の分岐となる庚申塔を右折します。平安初期に開かれたといわれ、家康以降の朱印状が残っている天台宗慈眼寺(水波田觀音)を経て、一気にゴール地点の鴨川みずべの里を目指し、9km余の散策はフィニッシュとなります。

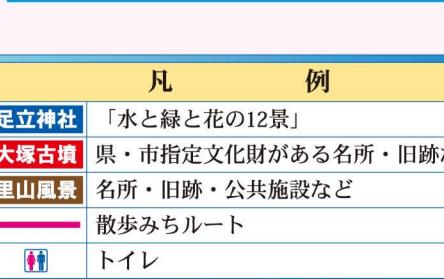
「ふれあい散歩みち」のヨーストにある2か所の12景を紹介します。

散歩みちマップ(全体図)を参照してください。

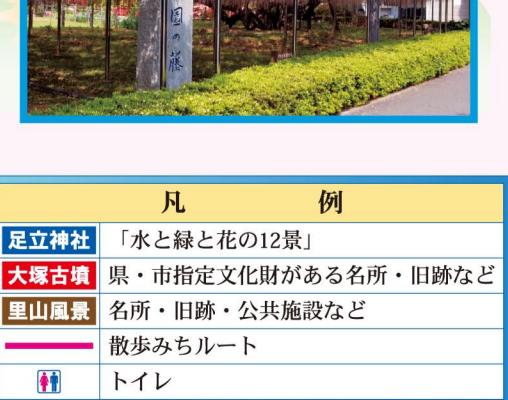
12景 錦乃原櫻草園



12景 青葉園のフジ



12景 ひん沼川



12景 足立神社

「水と緑と花の12景」

県・市指定文化財がある名所・旧跡など

名所・旧跡・公共施設など

散歩みちルート

トイレ